**麻央さんの乳がん「１年８か月ほど前に」…海老蔵さん会見・一問一答（１）**

「皆様お忙しい中、ありがとうございます。ご紹介いただきました市川海老蔵でございます。私も本日、新聞で、麻央が病気という記事が出まして、前々から家族としては認識していたことですけれども、今回、事が公になったということで、色々説明や、ご理解、またご協力が必要ではないかと思いまして、このようにお忙しい中、皆様にお集まりいただきました。本日はどうぞよろしくお願いいたします」

――まず、きょう麻央さんの病名は具体的に出てないですが、進行性のがん。

「そうですね、進行性のがん、そうですね、単刀直入に言うと、乳がんですね。１年８か月ほど前にわかりました」

――わかったきっかけは何だった。

「様々な人間ドックを夫婦で、二人でよく行っておりまして、結果的には、何回か調べたうえで、わかりました」

――話せる範囲で、ステージとかは。病名を告げられた時、どういう進行具合と言われたか。

「進行具合に関しては、かなりスピードの速いもので、なかなか大変なものではないかというようなご意見をお医者様からいただいて、はい」

――  君のお披露目は、病院から抜け出してきて。

「去年のせがれの初御目見得に関しては、すでにそういうことだったので、休むか、まあ、歌舞伎座に行くか、行かないかという話し合いもしまして、本人としてはやはり、勸玄の初御目見得ということで、覚悟を決めたうえで。歌舞伎ですと、初御目見得といっても２５日間ですので、私としては本当にそれでいいか、という思いもありまして、ですけど、話し合った結果、そういう形をとりたいということで、まあ、そういう形になったと」

――現在の麻央さんの状況はどういうふうに。

「そうですね、比較的深刻ではある。でも今、抗がん剤治療をやっておりまして、抗がん剤というのは人それぞれ、日本、世界も全て、病気で闘っているご家族、多いと思います。特にがんで闘っている方、多いと思います。そうした中で、抗がん剤というのを、人によって効いたり効かなかったりというのが、色々あるそうで、ずっと探りながらやっている中で、良かったり、良くなかったりを繰り返しながら、しかしながら手術をする方向に向かって治療しました。麻央本人は本当に、全部自分で理解しておりますから、前向きに、病と闘っています」

――入院されたのは、具体的に、いつ頃で。

「入院はずっとしてまして、つい最近、通院という形が取れるようになってきたので。やっぱり不安定なものですから、調子が悪かったら入院する場合もありますし、状態が良ければ通院という形で抗がん剤治療を継続しているという形です。中心とした治療は、抗がん剤です」

――麻央さんの入院に関しては、２人のお子さんはどんなふうに受け止めていらっしゃいますか。

「非常に長く、１年と８か月ぐらいですから、長女の  は、４歳、もうすぐ５歳なので、状況が少しずつわかって、とても寂しい思いをさせているし、彼女自身はそれもわかっていながら、自分の中で闘って、踏ん張って、頑張っているんだと日々感じていますね」

――麻央さん自身はどういうふうに病気を受け止め、どんな言葉でおっしゃっているのか。

「麻央自身が受け止めていること、ですか。誰よりも一番本人がつらいと思うんです。私には計り知れないつらさ、苦しさと闘っていると思うので。どのようなということは。彼女もつらい時はそういう話をすると思うんですけど、気丈な部分もございますので、明るく振る舞ってくれますので、彼女の本当の部分は、今、ここでは……」

――何か子供さんたちに麻央さんは言葉をかけているのか。

「お見舞いとか、たまに帰って来た時には、子供と楽しく過ごすと。病院から来ている数時間、もしくはお見舞に行っている数十分は、そういった会話ではなく、あの、まあ、キラキラした時間を過ごしているんじゃないですかね」

――１年８か月前ということで、ビックリしたんですが、改めて麻央さんの存在の大きさは感じていらっしゃるのでは。

「本当に私自身も、公にするのかしないのか、麻央と一緒に悩みまして、色々なことが起こるから、子供たちの生活もあるし、今日まで極秘だったんですけれども、やはり、麻央がいたからこそ私がいますし、何だかんだ、いないと寂しいですし、子供と一緒に寝ていても、子供が寝た後に空虚な時間があったりとか。芝居に行った時も、いつも麻央がいってらっしゃい、お帰りなさい、というのとは、１年８か月は違ったという。そういうことで改めて麻央という存在の大きさを、私自身はひどく痛感しているんじゃないでしょうかね」